

1400 | 編集研究

2 単位（通信授業 1 単位、面接授業 1 単位）

田村裕教授、金子伸二教授、高橋世織講師

授業の概要と目標

芸術文化を社会に伝えるうえで出版編集が果たしてきた役割とは何か？主に新聞・出版メディアを対象に、編集意図や主張、恣意性、作為性を読み取り、政治・社会への働きかけや流行・文化との関係、執筆者や読者との関係、編まれ方の変遷などについて、観察と構造的な分析・研究を行なうことで、編集の役割について考える。

課題の概要

○通信授業課題

A6判16ページの小冊子の編集制作および800字程度の「制作レポート」（学習指導書参照）。

○面接授業課題

出席による学習と、グループ・ディスカッションにおける積極発言を期待する。

* 課題については学習指導書『編集研究 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書に収録された以下の文章を批判的に検討し、自分の考え方を明確にして、小論文執筆の構想を練る。教科書の構成は以下のとおり。

「第一部」編集とは何か、プロデューサー（統括者）としての編集者、《編集》行為からみた宮沢賢治の《文学行為》、美術全集と東山魁夷

「第二部」書籍の装釘の話（内田魯庵、昭和3年）、教化機関としての小説及び浮世絵（市島春城、大正14年）、『文章世界』のこと（前田晃、昭和17年）、挿絵文化の意義（木村毅、昭和16年）

[面接授業]

第1日 前提講義、造本・印刷・編集と挿絵表現に関する講義、実物観察、編集研究のための基礎学習。

第2日 「表現」としての編集行為に関する講義、編集研究のための基礎学習。

第3日 編集研究事例及び電子書籍とデジタル情報資源の活用に関する講義、実物観察、本を構造的に読み取るための観察分析トレーニング（グループ・ディスカッション）。

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「デザインリサーチI・II」の単位を修得していること（芸術文化学科各コース3年次編入学生を除く）。

[備 考] 芸術文化学科各コース3年次必修科目。

継続履修者で、かつ平成17年度までにスクーリングに合格している学生は科目試験を受験する必要はない。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：酒井道夫編『教養としての編集』（武蔵野美術大学出版社 2009年）

学習指導書：『編集研究 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）